

# フロントブレーキホースキット (960mm) 取扱説明書

製品番号 06-08-0249

|      |                    |                                    |
|------|--------------------|------------------------------------|
| 適応車種 | KSR110             | KL110A-000001 ~<br>KL110A-A02833 ~ |
|      | KSR110 (KL110CBF)  | JKAKL110CCDA00058 ~                |
|      | KSR110 (KL110DDF)  | KL110D-A57002 ~                    |
|      | KSR PRO (KL110EEF) | JKAKL110EEDA88121 ~                |

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

●イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品で使用されているバンジョーボルトのネジピッチはM10x1.25です。  
取り付け前には、使用するマスターシリンダー、キャリパーのネジピッチが同一であることを確認下さい。

## ～特徴～

- KSR110のフロントブレーキに使用するブレーキホースのキットです。
- バンジョーアダプタータイプのフィッティングを採用する事により、自由度の高い取り回しを可能としました。
- 低膨張率のテフロンチューブをステンレスブレードで覆ったホースを使用する事でダイレクトなブレーキタッチで確実な制動力が得られます。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を走り違法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。  
(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。  
(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ブレーキホースに使用するシーリングワッシャは、着脱ごとに必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。  
(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。  
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。  
(事故につながる恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

## 製品内容



| 番号 | 部品名  | 個数 | リペア品番              |
|----|--|----|--------------------|
| 1  | ブレーキホース 960mm                                    | 1  | 00-06-0164         |
| 2  | バンジョー (ストレート)                                    | 1  | 00-07-0006         |
| 3  | バンジョー (25°)                                      | 1  | 00-07-0037         |
| 4  | バンジョーボルト M10x1.25<br>(ゴールドアルマイト)<br>(シーリングワッシャ付) | 2  | 00-07-0131         |
| 5  | シーリングワッシャ 10mm                                   | 4  | 00-07-0106 (10ヶ入り) |
| 6  | ブレーキフルード BF-4                                    | 1  | 06-08-0019         |

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。  
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。  
予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合は  
セット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービス  
マニュアルを参照して下さい。

- セット内容を確認します。
- 作業に適した工具を用意します。
- バンジョーボルトにシーリングワッシャ、バンジョー (25°)、シーリングワッシャの順で通し、マスターシリンダーに取り付けて仮締めします。
- フロントキャリパー側はバンジョー (ストレート) をマスターシリンダーと同様の方法で取り付けます。
- ブレーキホースを各バンジョーに取り付けます。  
バンジョーの取り付け角度、ブレーキホースの取り回しが決まれば、バンジョーボルト、ブレーキホースのフィッティングを規定トルクで締め付けます。



- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト  
トルク：12.8 ~ 14.8N・m (1.3 ~ 1.5kgf・m)  
フィッティング  
トルク：4.9 ~ 5.4N・m (0.5 ~ 0.6kgf・m)

※ブレーキホースの取り回しは、STDの取り回しを参考に  
してハンドル操作時やフロントフォーク作動時に無理の  
かからない状態になるように注意して行って下さい。

## マスターシリンダー、キャリパーのエア抜き作業

1. プリーダバルブを締め付け、リザーバタンクにブレーキフルードを注入し、ダイヤフラム、セットプレートを取り付けます。

▲注意：ゴミや水を混入させない事。  
▲注意：銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。DOT4 (BF-4)

2. ブレーキレバーの操作を繰り返し、ブレーキフルードレベルに注意しながらキャリパー、ブレーキホース、マスターシリンダー内にブレーキフルードを満たします。この操作をリザーバタンク内の穴から気泡が出なくなるまで(ブレーキレバーの操作に重みを感じるまで)行います。
3. ブレーキレバーを数回操作し、作動させた状態でプリーダバルブを1/2回転緩め、再度締め付けます。※プリーダバルブを締め付けるまで、レバーを放さないで下さい。
4. ブレーキレバーをゆっくり放し、完全に戻ったら数秒間放置します。
5. 3、4の作業をプリーダバルブ、リザーバタンクから気泡が出なくなるまで繰り返します。
6. プリーダバルブを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
プリーダバルブ  
トルク：5.4N・m (0.6kgf・m)

7. エア抜き後、ブレーキフルードレベルを点検し、必要があれば補充します。

▲警告：ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。  
万一付着した場合は、ブレーキパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。  
▲注意：走行前に必ずブレーキが正常に作動するか確認する事。

8. リザーバカバーを取り付けます。